

I - 3 図書館のあゆみ 平成12年(2000)－平成27年(2015)

新世紀に入ると、小規模だった旧施設からより床面積が広く、蔵書数の多い施設へと新築あるいは改修が進む。平成16年(2004)4月には新多摩平図書館、翌年4月には日野図書館がリニューアルオープンし、平成20年(2008)4月には新平山図書館が平山季重ふれあい館の1階に開設される。その一方で、平成21年(2009)6月、百草台児童図書館が廃館となる。

同時に夜間、祝日など開館時間及び開館日の拡大も進められ、また平成14年(2002)4月の多摩市との相互利用の実施を皮切りに、その後、平成20年(2008)4月には京王線沿線の近隣自治体との広域利用が実施され、さらに実践女子大学・短期大学との連携も図られる。

一方、平成11年(1999)7月の地方分権一括法の成立により、翌年4月、日野市立図書館設置条例における館長の有資格条項が一部改正され、一般行政職の館長も配置可能となる。

平成13年(2001)には都立図書館の再編が実施され、それに伴い市区町村立図書館に対する協力事業等で一部変更があったため、リクエストサービス等に影響を及ぼす。

平成18年(2006)6月、日野図書館が地域の住民とともに「日野宿発見隊」を立ち上げる。地域に埋もれたお宝を探し出し、まちを再発見しようとの取り組みは、その後「まちかど写真館」などの事業や写真集、絵本の発行につながる。また、平成20年(2008)8月、中央図書館でも市民と共同で今の日野の風景を写真に残す、「ひの写真散歩」の取り組みも始まる。

青少年世代を対象とする事業として、平成17年(2005)7月から、中学生を対象とした「ジュニアスタッフ」(書架整理等の仕事体験事業)を開始。また平成21年度(2009)からは、市内在住生の高校生・大学生で構成される「ヤング

スタッフ」事業も始まる。作家を招いた講演会の開催や本の紹介イベント「BOOKパレード」など活発な活動を展開する。

電算システムにおいては、平成14年(2002)よりインターネット上に所蔵情報の公開が実施され同時に予約入力も可能となる。特に予約サービスではそれまで年間67,000件ほどだった予約件数が、平成21年度(2009)以降、約6倍の420,000件台に増大する。

一方、市財政の悪化に伴い図書館予算は大幅な削減を余儀なくされ、特に図書費は平成3年度(1991)の92,701,000円をピークに、平成23年度(2011)以降、46,000,000円台と半減している。

図書館サービスを支える人の面でも、平成18年(2006)4月より第3次行財政改革大綱に基づき図書館の定数8名の削減が実施され、代わりに嘱託員の増員が図られる。

平成23年度(2011)以降、貸出冊数や予約受付冊数の上限設定、また貸出停止措置など、資料の有効な利用を図ることを目的に、新たな利用規定が順次設けられる。

日野市としての政策表明として、平成18年(2006)以降、子ども読書活動推進計画及び図書館基本計画がそれぞれ第1次、第2次と策定される。日野市立図書館の今後の図書館活動を決定づける基本方針として位置づけられる。なお今年度、公募委員2名、有識者2名に庁内関連部署の代表者の参加をえて、第3次子ども読書活動推進計画を現在策定中だ。

昭和40年(1965)9月21日、1台の移動図書館から始まった当館の図書館サービスは、市民をはじめ多くの方々に支えられ、本年(平成27年(2015))めでたく開設50周年を迎えることができた。そしてここに新たな歩みをスタートする。

平成12年(2000)

多摩都市モノレール全線開通／国政調査（人口167,942人）／ごみ戸別収集制スタート／
ISO14001認証取得
△沖縄サミット／シドニーオリンピック大会／白川英樹博士ノーベル化学賞受賞

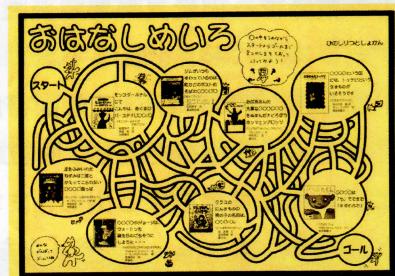
- 1月 社会教育センター図書館、移転のため閉館(1.30)
- 2月 多摩平図書館開館(多摩平七丁目の施設・土地を東京都新都市建設公社より借用)(2.15)
- 3月 教育委員会定例会、「日野市図書館設置条例改定に対する請願」(平成12年2月28日受付)を不採択(3.1)
児童用利用案内改訂版発行(A5判)(3.28)
- 4月 「日野市立図書館設置条例」一部改正
☞これまで館長の条件として司書資格が求められていたが、「図書館の館長は、図書館機能を達成するため、図書館法に定める専門的職員のほか館長として必要な学識経験を有する者とする。」と改め、一般行政職館長の配置も可能となる。
他自治体からの借用本及びCD・カセットテープを除く資料がどの館でも返却可能となる業務用インターネットを開設
☞図書館業務でもインターネットの利用が可能となり、出版情報の獲得やレファレンスサービス調査など日々の業務に大きな変化を及ぼし始める。
雑誌カバーの全面廃止(4.26)



平成13年(2001)

第4次基本構想策定／日野市男女平等基本条例制定／生涯学習推進計画策定
△中央省庁再編／小泉内閣誕生／アメリカ同時多発テロ発生／国内初の狂牛病／
野依良治博士ノーベル化学賞受賞

- 1月 『東京の障害者サービス2000』別冊「東公図録音図書・点訳図書作成マニュアル」完成
(障害者サービス担当編集協力)(1.17)
- 3月 『「環境にやさしいまちひの」フェスタ 日野市立図書館所蔵リスト』発行
- 4月 『おはなしめいろう』作成(A3判両面2枚)
☞学校訪問用お薦めリストを『おはなしすごろく』に代わり『おはなしめいろう』に変更。
- 7月 高幡図書館、火・木曜日の開館時間を夜7時まで延長
(7.17)
文部科学省が「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を制定(7.18)
高幡図書館お話の部屋の一般利用受付開始
- 8月 本の案内カウンタ一日誌記録開始(試行)(8.21)
- 10月 国立国会図書館総合目録ネットワーク事業に参加(検索のみ)(10.1)
- 11月 平山図書館、火～金・日曜日の開館時間を午前10時～午後5時までに延長
- 12月 地域イントラ整備事業により利用者用インターネット端末開設(12.1)
☞市民誰もがインターネット環境にアクセスできるようにと、中央・高幡図書館に加え多摩平児童・日野・平山・市政図書室の各館にインターネット端末が開設される。
地域イントラにより小中学校からの図書館資料検索が可能に



日野市議会、東京都知事・教育長宛に「都立図書館再編計画」に関する意見書提出 (12. 18)

☞日野市議会は「都立図書館再編計画」に関する意見書提出を求める陳情を採択し、東京都知事・教育長宛に「都立図書館再編計画」に関する意見書を提出する。

平成14年(2002)

市議会議員定数条例施行（30人から26人へ）／市立病院開設／情報公開条例施行
◇学校週5日制導入／日韓共催サッカーW杯／日朝首脳会談／
小柴昌俊、田中耕一両氏ノーベル物理学賞受賞

3月 日野市立図書館協議会、『新しいランドマークをめざして－日野市立図書館の今後のあり方－』を答申

4月 多摩市立図書館との相互利用実施 (4. 1)

移動図書館車、運転等業務委託 (4. 2)

☞昭和40年(1965)9月以来、移動図書館車の運転は職員が行っていたが、この年度より運転を業者に委託し、通常の巡回は職員と委託先運転手2名による巡回となる。

多摩平児童・多摩平・平山・百草台児童図書館、土曜日開館実施 (4. 6)

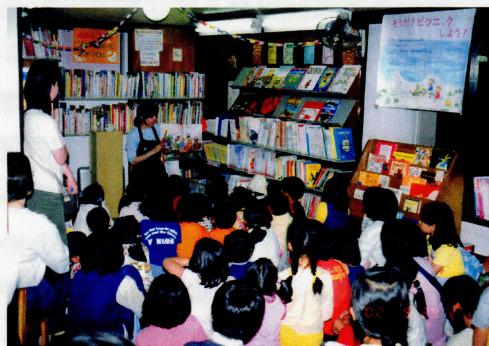
百草台児童図書館、開館曜日を月・水・土曜日開館に変更 (4. 6)

5月 多摩平児童図書館閉館 (5. 31)

☞新多摩平図書館建設に先立ち、昭和46年(1971)4月以来足掛け31年間親しまれてきた多摩平児童図書館が閉館することに決定。29日に開催されたお別れの会には子どもたちだけでなく、ここで育ったOBたちも駆けつけ閉館を惜しむ。



多摩平児童図書館あゆみ展



多摩平児童図書館お別れ会

6月 「日野市立図書館ホームページリンク集選定要領」制定 (6. 1)

第6期電算化計画スタート (NEC LiCS、OS:Windows 95) (6. 14)

☞インターネットに対応できるようになり、図書館のホームページを公開。これによりインターネットや携帯電話からの予約受付が開始され、図書館サービスに大きな変化をもたらす。7月には館内OPAC及びインターネット端末による利用者自身の貸出・予約状況照会・予約取消が可能になる。また、10月にはインターネット、携帯電話からの予約受付が開始される。

7月 朝礼連絡を電算システム上の共有ホルダーを利用して、書き込み閲覧可能にする図書館内メール送受信正式開始

中央図書館集会室・高幡図書館読書会室、夜間利用の自主管理（入退出時の施錠）スタート (10. 1)

電話自動応答システムスタート (10. 15)

12月 東京都の図書館横断検索スタート (12. 24)

☞リアルタイムではないものの、都内の公立図書館における資料の所蔵状況の確認が可能となり、協力貸出の範囲を大幅に広げる。

平成15年(2003)

石田大橋開通

◇イラク戦争／S A R S集団発生／個人情報保護法成立／有事関連法成立／住基ネット本格稼働

1月 国会図書館所蔵資料借用申し込みをインターネット上から依頼開始 (1. 9)

3月 DAISY 講習会 講師: DAISY TOKYO (初回、全3回) (3. 7/3. 13/3. 14)

4月 都立中央図書館と日野市立図書館職員各1名の交換研修実施 (4. 1 ~ 2004. 3. 31)

小学校を訪問して3年生に図書館ガイダンス (17校、通算19年目) (4. 24 ~ 2004. 3. 19)

☞昭和60年(1985)5月から始まった小学生1年生向けの図書館ガイダンスは、児童の理解度を考慮し、この年度から3年生対象に変更する。

6月 都立図書館協力貸出制限実施 (新刊書及び昭和25年以前の資料等対象)

図書館ホームページ全面リニューアル (6. 30)

8月 『新選組を読む・調べるために』(初版) 発行

平成16年(2004)

「新選組フェスタ in 日野」開催／多摩平の森ふれあい館開設／教育センター開設

◇国民保護法成立／イラクへ自衛隊派遣／新潟県中越地震

2月 図書館協議会、『日野市立図書館におけるボランティアのあり方－日野市立図書館協議会報告』を答申 (2. 23)

4月 第5代図書館長に藤沢和男副館長就任 (～平成18年1月)

新多摩平図書館開館 (多摩平の森ふれあい館1階、延床面積940 m²) (4. 1)

☞UR都市機構の多摩平ふれあいの森内、旧多摩平児童図書館跡地に建設された多摩平の森ふれあい館1階に新多摩平図書館が開館する。建設費はUR都市機構負担。男女平等課、子ども家庭支援センター、多摩平交流センターなどとの複合施設となる。また市内の図書館ではじめて、ブラウジングルーム(管理は男女平等課)を隣接して設置する。



多摩平の森ふれあい館



多摩平図書館

中央・高幡・多摩平図書館、火曜～金曜日の夜間（午後7時まで）開館と祝日開館を実施
(4.1)

☞土・日曜日に重なった祝日は市政・百草台児童図書館を除く全館、平日に重なった祝日は中央・高幡・多摩平図書館のみ開館となる。

視聴覚資料（16ミリフィルムを除く）、多摩平図書館にて貸出・予約受付開始（4.1）

5月 第7代図書館協議会委員長に西村米子氏就任（～平成20年3月）(5.17)

7月 保存書庫の維持についての基準作成

☞保存スペースの確保に日々窮する事態の改善のため、保存基準を見直し一部除籍の範囲を拡大するとともに、高幡・多摩平・百草図書館において、部門による分散型保存を開始する。

11月 読み聞かせ入門講座（初年度）：多摩平の森ふれあい館（11.12）・高幡図書館（11.18）

☞子どもの身近にいる大人たちを対象に、絵本の読み聞かせ方法を学んでもらおうとの企画。日頃おはなし会を担当する職員の講義の後、グループにわかれ実演に取り組んでもらう。



読み聞かせ入門講座

平成17年（2005）

郷土資料館開館／環境情報センター「かわせみ館」開設／人口17万人を突破
◇愛知万博／JR福知山線脱線事故／衆院選で自民党歴史的大勝／郵政民営化法成立／耐震強度偽装事件

1月 「レファレンス事例」についての館内専門研修（1.19）

2月 「東公図 DAISY 図書作成マニュアル」（障害者サービス担当編集協力）完成（2.16）

3月 地方・小出版流通センターからの見計らい図書制度中止

東京都公立図書館長協議会解散（翌年度、東京都公立図書館長連絡会を設置）

4月 市政図書室が土曜日開館を実施（4.1）

日野図書館がリニューアルオープン（4.3）

☞日野宿再生プロジェクトの一環として、耐震補強を含む全面改修工事を実施し2階部分も使用可能になる。開館に伴い祝日（火～日曜日）開館と火～金曜日の夜間開館を実施。2階には「新選組・日野宿関係資料コーナー」を設置。



平成21年撮影

6月 市政図書室、「日野人ニュースクリップ」作成開始

7月 町田市立図書館一時預かり資料（都立図書館除籍資料）についての重複調査開始（7.22）

夏休みジュニアスタッフが開始され中学生の仕事体験希望者の受け入れ開始（初年度）

（7.26～8.5）

8月 ボランティアによる高齢者への宅配開始（試行）

9月 「日野市立図書館の個人情報取り扱いについて」提示（9.8）

11月 「有山崧と日野市立図書館の40年」展（～12月、
日野図書館）

☞有山崧第2代市長は日野市政のみならず、
日本の公共図書館の発展にも尽力された。
設立40周年を記念し、日野の図書館の礎
を築いてくれた故人の功績を讃えるため、
生家に近い日野図書館で展示会を開催。

中央・高幡・多摩平・平山図書館、公衆無線LAN
サービスの提供開始

12月 高幡・日野・多摩平・平山・百草図書館に庁内LAN用端末設置（12.14）
『日野市立図書館年表2005』（業務用）作成



日野図書館

平成18年（2006）

地域サポーター制度スタート／日野市まちづくり条例施行

△日本郵政株式会社発足／トリノ冬季オリンピック大会／安倍晋三内閣発足／改正教育基本法成立

2月 第6代図書館長に川口文子副主幹就任（～平成18年10月）（2.1）

『日野市子ども読書活動推進計画』策定

東京都多摩地域公立図書館大会開催（初回）（2.22/23）

☞東京都公立図書館長協議会解散後、多摩地域の図書館による図書館大会を開催する。
職員だけでなく、市民も参加可能な開かれた大会となる。

図書館運営について、市長及び助役と係長職以上職員との懇談（2.15）

3月 東京都及び市区町村が共同で組織する『東京電子自治体共同運営サービス』を
使っての電子申請システムによる、本のリクエストとレファレンスサービスを開始
相互貸借申込みのインターネットからの受付開始（試行、三多摩市町村立図書館限定）
(3.1)

4月 百草図書館、火～金曜日の夜間（午後7時まで）開館を
実施（4.1）

平山・百草図書館も祝日（火～日曜日）の開館日を拡大（4.1）

日野市立図書館月報『ひろば』80号（『図書館報ひろば』

と『新しい本』を統合）発行

「子ども読書の日」おはなし会（初年度、中央・高幡図書館）
(4.23)

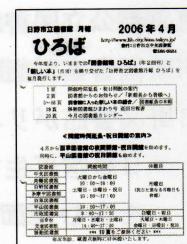
子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰
を受ける（4.23）

5月 郷土教育推進研究委員会へ職員派遣開始（5.18）

学校への資料搬送便の運行を開始（5.25）

☞学校支援の一環として授業で使う図書を提供するため定期的に搬送便を運行する。

6月 日野・百草図書館、公衆無線LANサービスの提供開始（6.15）



- 8月 日野宿発見隊第1弾「日野宿こども発見隊 こどもまち歩き会」(8. 26)
 ↗これを契機に地域住民と日野図書館が共同で取り組む日野宿発見隊が本格的に活動を展開。まち歩き会やまちかど写真館の開催、また写真集『まちかど写真館 in ひの』第1集・第2集(A4判、各1,000部)、絵本『ひのっ子日野宿発見』等の刊行につながる。



- 10月 第7代図書館長に小澤昭道企画部主幹就任(～平成21年3月)(10. 1)
 宅配ボランティア・サービスを本実施(10. 1)
 市長及び助役と係長職以上職員との懇談(10. 17)
- 11月 講演会「子どもと本の出会いー本の楽しさを伝える扉を開けてー」児童文学者
 依田逸夫氏(生活・保健センター)(11. 5)
 日野市立図書館のあゆみ展「図書館とこどもたち」
 (中央: 11. 14 ~ 26 高幡: 11. 28 ~ 12. 10)
 ↗開設40年を経た日野市立図書館の実践を振り返り、児童へのサービスに視点をあて展示会を開催。当館の実践を紹介した16ミリフィルム『図書館とこどもたち』の映写会も同時開催。
- 12月 むすびめの会及びライブラリー・フレンズひの連名の要請を受けて提供したリサイクル資料、ルーマニアの文化センターに到着(12. 1)
 図書館基本計画のための来館者調査(中央・高幡図書館)(12. 24/26)



中央図書館2階ギャラリー

平成19年(2007)

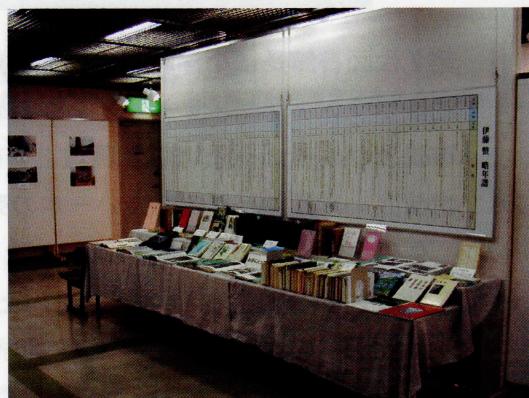
日野バイパス全線開通／七生支所、京王高幡ショッピングセンターに移転／放課後子どもプラン「ひのっち」スタート／第3次行財政改革大綱策定
 ◇国民投票法成立／参院選で自民党が歴史的惨敗／サブプライム・ショック

- 4月 平山図書館、複合館建設工事のため閉館(4. 1)
 受入図書の装備、一部を除きすべて館内装備にて対応
 平山図書館臨時開館(予約本の受付、貸出と返却受付:
 平山図書館内)(4. 3 ~ 4. 22)
 平山図書館(京王クラウンビル1階)臨時開館(4. 24 ~
 2008. 3. 30)
 図書館読書パスポート配布開始(4. 29)



読書パスポート

- 5月 中央図書館2階ギャラリーに「しごと情報コーナー」設置
 ☞日野市内企業・事業所・店舗などの事業やサービスを紹介。日野市内で行われている「しごと」の情報窓口をめざす。
- 10月 実践女子大学・女子短期大学との図書館相互利用開始 (10. 1)
 ☞実践女子大学・女子短期大学の図書館が所蔵する資料の一部を借用し、市内の図書館で閲覧可能となるほか、レファレンスサービスの相互協力や行事等の共同開催を進める。
- 11月 多摩平図書館、ヤングコーナー設置 (11. 6)
- 12月 伊藤整展 (日野市民会館展示室1) (12. 1 ~ 16)
 ☞昭和22年(1947)8月から昭和29年(1954)5月まで、日野町芝山(現在の多摩平三丁目)に住んでいた文学者伊藤整の足跡をたどる展示会を開催。



平成20年(2008)

平山小新校舎完成／七生緑小学校開校／平山台健康・市民支援センター開設／
 日野町・七生村合併50周年／子ども家庭支援センター開設
 ◇後期高齢者医療制度／洞爺湖サミット／南部陽一郎氏等4博士ノーベル賞受賞

- 1月 第7期電算化スタート (NEC LiCS-Web、OS:Windows XP) (1. 8)
 ☞業務と館内OPAC・WebOPACなど利用者用公開情報が完全なリアルタイム処理。予約カード方式、貸出延長機能を導入。また4月からは第1期学校図書館システムが導入される。
- 2月 百草台児童図書館が休館 (2. 1)
 講演会「子どもたちに楽しいおはなしを 耳から聞くお話の世界への誘い」
 東京子ども図書館職員 内藤直子氏(多摩平の森ふれあい館2階集会室) (2. 3)
- 3月 次期図書館協議会委員を公募(初回)
 ☞図書館協議会委員の一般公募を初めて実施。18歳以上の市内在住者3名。任期は2年。
- 4月 「図書館利用規定」の変更 (4. 1)
 ☞資料の有効な利用を図るために貸出冊数を30冊、予約受付数を50冊に変更する。
 京王線沿線7市図書館の連携を開始 (4. 1)
 ☞日野市民も稲城市・多摩市・調布市・八王子市・府中市・町田市との広域利用が可能となる。

新平山図書館開館（412m²、火～金曜日：午前10時

～午後7時、土・日曜日・祝日：午前10時～

午後5時）（4.5）

☞平山季重ふれあい館の1階スペースに開設。プラウジングルームを隣接して設置。次世代子育て広場や交流センターも併設された複合館となる。



平山季重ふれあい館

5月 第8代図書館協議会委員長に有山至氏就任（～平成22年4月）（5.19）

6月 テレビ朝日「ちい散步」撮影のため日野図書館に来館（7月8日放映）（6.12）

7月 図書館ほのぼの川柳募集（7.1～8.31）

8月 『くらしの中に図書館を－市民に役立ち、共に歩む図書館－図書館基本計画』策定（8.31）
☞公募の市民委員8名、庁内関係部署職員を含めたプロジェクトチームにより日野市立図書館基本計画を策定。

ひの写真散歩撮影者募集（8.30）

10月 NHKラジオ第2放送「視覚障害者の皆さんへ 働く現場～図書館の仕事～」

取材のため来館（11月9日放送）（10.3）

「ストーリーテリングと絵本の講座」東京子ども図書館職員 内藤直子氏（公民館・図書館共催、日野宿交流館 全12回）（10.7）

11月 利用案内新版（A3判三つ折り）発行

移動図書館ひまわり号を東京都大島町へ移管

☞図書館基本計画策定委員だった濱田陽子氏の仲介で、排ガス規制のため都内では使用困難となったひまわり号を大島町に移管する。



平成21年2月1日
つばき祭りでお披露目

12月 東京都市町村立図書館長協議会発行の

『多摩地域における共同利用図書館検討調査報告書』（平成20年3月）を

平成20・21年度同協議会会長市としてホームページに掲載

平成21年（2009）

日野市ユニバーサルデザイン推進条例制定／日野市みんなですすめる食育条例制定／第一中学校新校舎完成
△裁判員裁判スタート／衆院選で民主党圧勝、政権交代

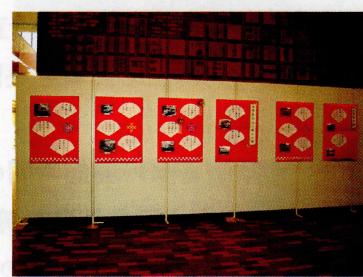
1月 市長の年頭挨拶の後、日野図書館担当3名による

プレゼンテーション「飛び出せ図書館－住民と共に－」

（1.5）

図書館ほのぼの川柳入選作品・歴代ひまわり号写真展

（市役所1階ロビー）（1.5～22）



図書館ほのぼの川柳入選作品展

- 2月 日野図書館、「多摩のまちなみ建築デザイン賞優良賞」を受賞（立川商工会議所・北多摩西部6商工会建設業界部会共催）(2.10)
- 3月 写真集『まちかど写真館 in ひの』(日野宿発見隊企画・編集)刊行
「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」制定(3.31)
☞図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、図書館の運営の状況に関する評価の実施が毎年義務付けられることにより制定される。
- 4月 第8代図書館長に小川八郎企画部主幹就任（～平成22年3月）(4.1)
- 6月 百草台児童図書館廃館(6.17)
☞もぐさだい児童館の2階にあった百草台児童図書館が廃館となる。百草団地の一角にあった同館は当初から日野市の子どもたちばかりでなく多摩市の子どもたちの利用も受け入れていた。また同館のみ最後までブラウン方式による貸出を行った。
- 日野ヤングスタッフ☆ドリームスクラム2009
松原秀行氏講演会（多摩平の森ふれあい館 3階集会室）
(12.13)
☞公募で集まったヤングスタッフのメンバーが中心となり企画・開催される。



松原秀行氏講演会

平成22年(2010)

百草台コミュニティーセンター開設／クリーンセンター汚泥再生施設完成
◇小惑星イトカワから「はやぶさ」帰還／尖閣諸島中国漁船衝突事件／
根岸英一、鈴木章両教授ノーベル化学賞受賞

- 1月 「日野市立図書館資料収集方針」を公開
高幡図書館読書会室を未使用時は学習スペースとして開放開始
- 2月 日野ヤングスタッフ☆ドリームスクラム2009
辻村深月氏講演会「フィクションの向こう側」
(七生公会堂)(2.13)
- 3月 図書館協議会より「図書館協議会の提言について」が提出される(3.15)
講演会「子育て個育て自分育て～いのちの話お産の話をめぐって」助産師 椎野まりこ氏
(多摩平の森ふれあい館)(3.19)
- 来館者アンケート実施(中央・高幡図書館)
- 4月 第9代図書館長に鬼倉正敏副館長就任（～平成23年3月）(4.1)
市政図書室を除く中央図書館と分館の祝日に重なる月曜日の開館（振替休館なし）を実施
(4.1)
市政図書室の開館時間の変更（午前8時30分より午後5時15分まで）(4.1)
「日野市立図書館資料等の複写および印刷サービスに関する要綱」施行(4.1)
☞カラーコピー機の設置により新たな要綱を制定する。カラーコピー料金をA3判1枚80円、それ以外50円とする。



辻村深月さんとヤングスタッフ

- 中央・多摩平・市政図書室、カラーコピー機設置、及び中央図書館1階に白黒コピー機設置
- 5月 第9代図書館協議会委員長に大杉宏光氏就任(5.24)
- 9月 中央・市政図書室、オンラインデータベースの利用者への公開開始(9.28)
- 10月 わらべうた講演会<親子向け> 教育研究所ゆずりは代表 木村はるみ氏
(多摩平の森ふれあい館集会室6及び高幡図書館お話の部屋)
わらべうた講演会<指導者向け> 木村はるみ氏(中央公民館)(10.29)
アニメーション講演会 アニメーション研究会代表 岩辺泰吏氏(中央公民館)(10.29/11.5)

平成23年(2011)

南平立体開通／市内小・中学校で耐震補強工事完了／第5次基本構想策定／
第4次行財政改革大綱策定
△東日本大震災福島第一原発事故／サッカー女子W杯で日本優勝

- 1月 絵本『ひのっ子日野宿発見』(日野宿子ども発見隊事業実行委員会
企画・編集 おおぎやなぎちか・文 広田美穂・絵)刊行(B5判、
3,000部)
- 2月 国民読書年事業「心にひびく朗読の世界」(多摩平の森ふれあい館
3階集会室)(2.26)
講演会「教えて!編集長～若者職業指南～」元学研編集長
後路好章氏(多摩平の森ふれあい館3階集会室)(2.27)
来館者アンケート実施(日野・平山図書館)
- 3月 『第2次日野市子ども読書活動推進計画』策定
夜間開館の休止
△3月11日に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらしたが、幸いにも市内の図書館に直接的な損害はなかった。しかし福島第一原発事故による電力供給縮小の影響は大きく、4月中旬まで夜間開館を休止せざるを得なかつた。その後、節電対策のため、夜間開館を地区ごとに交互に週2回の開館に変更し9月末まで実施にするに至る。
- 4月 第10代図書館長に宇津木恵子教育部参事就任(～平成26年3月)(4.1)
- 6月 百草図書館、CD設置(6.1)
- 10月 「図書館利用規則」改定(10.5)
△貸出停止処分をこれまでの延滞日数60日間から3週間に短縮する。
講演会「子どもと楽しむ科学あそび－風車をまわそう－」
実践女子大教授 塚原博氏
(多摩平の森ふれあい館3階集会室)(10.29)
- 11月 ヤングスタッフによる本の紹介イベントBOOKパレード
(初回、たまだいら児童館)(11.27)
講演会「わらべうたで遊ぼう」教育研究所ゆづりは代表
木村はるみ氏
(平山季重ふれあい館3階小ホール)(11.30)
- 12月 講演会「わらべうたで遊ぼう」木村はるみ氏(豊田地区センター)(12.14)



塚原博氏講演会

平成24年(2012)

市民の森ふれあいホール開館
◇東京スカイツリー開業／ロンドンオリンピック大会／尖閣諸島を国有化／
山中伸弥教授ノーベル生理学・医学賞受賞

1月 講演会「手ぶくろ人形であそぼう」三鷹市文庫連

「おはなしクラブ」代表 川田洋子氏

第1部：3～5歳児とその保護者対象

第2部：保育関係者等関心のある方対象

(多摩平の森ふれあい館3階集会室) (1. 21)



川田洋子氏講演会

2月 来館者アンケート実施(多摩平・百草図書館)

3月 写真集『まちかど写真館 in ひの』第2集

(日野宿発見隊企画・編集)刊行(A4判、1,000部)

ひの写真散歩、写真集第1集

『散歩の途中で見つけた商店』刊行(A4判)

ひの写真散歩、写真集第2集

『日野の今を伝える 2002-12』刊行(A4判)

乳幼児の保護者向け図書館利用案内発行

図書館協議会、第2次図書館基本計画への提言

4月 「日野市立図書館処務規則」改正(4. 1)

☞庶務整理係を庶務係とし、図書館資料の受入

整理部門を業務係、障害者サービス部門を奉仕係に編入する。中央図書館開館に伴う組織改正以来の大きな変更となる。

「日野市立図書館協議会設置条例」一部改正(4. 1)

☞協議会の委員は教育委員会が任命する。委員の定数は、10人以内とし、学校教育・社会教育・家庭教育関係者及び学識経験者7人以内、公募市民3人以内とする。

「日野市立図書館資料等の複写及び印刷サービスに関する要綱」改正(4. 1)

☞カラーコピー料金をA3判まで1枚一律40円と改定。

図書購入における競争入札実施

☞これまで随意契約による図書購入を行ってきたが、この年度より毎年の競争入札による購入となる。

9月 高齢者サービス事業「初心者向け図書館ホームページ活用講座」(実践女子大学・短期大学・図書館共催 実践女子短期大学) (9. 6)

11月 館内専門研修「レファレンス研修」講師:国会図書館職員(中央図書館集会室) (11. 12)

「赤ちゃんむけおもちゃをいっしょに作ろう!絵本を楽しもう!~手作りおもちゃと絵本読み聞かせの会」(市立保育園・図書館共催、多摩平の森ふれあい館3階集会室) (11. 16)

平成25年(2013)

スポーツ祭東京2013／天皇・皇后両陛下行幸啓／市制施行50周年
◇和食が無形文化遺産に決定／日銀、異例の量的・質的金融緩和決定／
富士山が世界文化遺産に決定／特定秘密保護法成立

1月 中央図書館、区画整理による道路変更に伴う外溝工事

2月 中央図書館開館40周年誕生祭(2.15～7.31)

☞昭和48年(1973)4月28日に開館してから40周年を迎えた中央図書館を祝い、リサイクル雑誌の無料配布や「移動図書館ひまわり号であそぼう」を開催。また7月末まで中央図書館の今昔写真、日野市立図書館に関する文献の展示、「中央図書館の思い出」投稿展示などを開催する。



3月 『第2次日野市立図書館基本計画 くらしの中に図書館を』策定

☞無限の可能性を秘めた本の力、その本と人とを結びつける図書館の力を信じて、図書館の発展を求めて活動していくことを第2次基本計画の主眼とする。

4月 図書予約冊数の上限を50冊から30冊に変更(4.1)

図書の分類記号一部変更(日本的小説・エッセイ・文庫・家庭医学・児童昔話)

第6代日野市長に大坪冬彦就任(4.27)

子ども読書の日、「とよかんおはなしピクニック2013」(多摩平の森ふれあい館)(4.20)

中央図書館開館40周年(4.28)

5月 東日本大震災発生から4月分までの新聞原紙を日本図書館協会東日本大震災対策委員会を通して、宮城県の岩沼市民図書館、女川つながる図書館、南三陸町図書館に寄贈

11月 館内専門研修「選書について」講師:浦安市立図書館副主幹 加藤竜治氏

(中央図書館集会室)(11.25)

12月 講演会「楽しく作って遊ぼうよ!」(日野市立幼稚園・図書館共催、多摩平の森ふれあい館3階集会室)(12.14)

本の森学級文庫(小学校への配本)開始

☞図書館があらかじめ選んだお薦め本をセットにして各学年に貸し出す。

平成26年(2014)

発達・教育支援センター「エール」開設／「広報ひの」A4判全面カラーの雑誌型に
△消費税8%スタート／「富岡製糸場と絹産業遺産群」世界文化遺産に登録／
赤崎勇、中村修二、天野浩3博士、ノーベル物理学賞受賞

1月 第8期電算化スタート(NEC LiCS-Web II、OS:Windows7)(1.8)

☞クラウド方式によるデータ管理となる。TRC-MARC採用。ホームページを全面リニューアルし、懸案だった順番予約も可能となり、利用者の利便性を高める。一方、電話応答システムは廃止される。第2期学校図書館システム、各校PCを2台に増設する。

「日野市立図書館利用者用インターネット端末利用要綱」制定(1.8)

- 4月 第11代図書館長に篠田友子副館長就任 (4. 1)
 「日野市立図書館資料等の複写又は印刷サービスに関する要綱」改正 (4. 1)
- 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス利用要綱」制定 (4. 1)
- 6月 オンラインデータベースの利用者公開を中央・市政図書室に加え、全館で実施
- 9月 「はじめての読書会『100万回生きたねこ』(佐野洋子著)」
 講師：元日野市立図書館協議会委員 青木笙子氏
 (高幡図書館読書会室) (9. 26)
 ☞以後、第2弾『半生の記』(松本清張著) (11. 21)
 第3弾『思い出トランプ』(向田邦子著 中央)
 (1. 31)
- 11月 日野市立図書館開設50周年記念巡回写真展
 (～翌年9月) (11. 15～2015. 9. 24)
 ☞開設からの50年のあゆみをたどる写真展(10年単位)を、日野・中央・多摩平・平山・高幡・百草図書館で順次開催し、最後に市役所1階ロビーで総集編を開催。



青木笙子氏による「はじめての読書会」

平成27年(2015)

障害者生活・就労支援センター開設／オープンデータ公開開始
 ◇北陸新幹線開業／福島第一原発事故後初の川内原発再稼動／安全保障関連法案成立／大村智、梶田隆章両博士、ノーベル賞受賞

- 1月 「みんなで赤ちゃんを迎える～図書館員、助産師から聞く本のある暮らし～」
 (健康課・図書館共催、生活・保健センター1階) (1. 31)
- 2月 館内専門研修「多様な図書館サービス①」(明治大学制作のDVD『多様な側面からみた図書館サービス』の上映と障害者サービスについて 中央図書館集会室) (2. 9)
 国立国会図書館デジタルコレクション及び「歴史的音源」の館内閲覧開始
- 4月 「ひよこタイム」：多摩平・平山図書館にて月1回実施 (4. 9)
 ☞乳幼児連れの保護者が気兼ねなく来館できる時間帯として、乳幼児向けのおはなし会開催時に設ける。
 「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」利用開始(在住・在勤・在学者のみ利用可) (4. 21)
- 5月 「はじまりの読書会」第1弾『お伽草紙』(太宰治著) 講師：青木笙子氏
 (高幡図書館読書会室) (5. 22)
 ☞以後、第2弾『城の崎にて』(志賀直哉著) (6. 26) 第3弾『夢十夜』(夏目漱石著) (7. 24) 第4弾『トロッコ』(芥川龍之介著) (9. 25) 第5弾『檸檬』(梶井基次郎著) (10. 23) 第6弾『よだかの星』(宮沢賢治著) (11. 27)
- 6月 百草図書館、空調機器入れ替え工事のため休館 (6. 10～7. 10)
 ☞1階臨時窓口にて、資料の返却及び準備済み予約本の貸出を実施。
 日野市立図書館開設50周年
 ☞昭和40年(1965)6月20日に「日野市立図書館設置条例」が成立してから丸50年。
 現在、当館は1台の移動図書館ひまわり号のほか、中央図書館と6つの分館により市内全域への図書館サービスを実施している。

9月 日野市立図書館開設50周年記念展示（市役所1階ロビー）(9.10～24) ～さやくのさく～
移動図書館、初巡回から50年

☞昭和40年（1965）9月21日の初巡回から50年を迎える。これまでに全図書館で貸し出した資料点数（図書・雑誌・視聴覚）は51,000,000点を超える。

10月 音訳者初級講習会（講師：人見共氏、全10回、
中央図書館集会室）(10.6～12.22)

明星大学第50回星友祭で、「移動図書館ひまわり号おめでとうまつり」（特別参加）開催
☞学園祭に訪れた子どもたちにひまわり号の紙模型工作やしおり作りなどを楽しんでもらう。歴代のひまわり号や日野宿発見隊のPR展示も同時に開催する。



日野市立図書館開設50周年記念展示



日野宿発見隊提供



参加賞の「初代ひまわり号」特製缶バッジと図書館キャラクター「のら」シール



11月 日野市立図書館開設50周年記念式典・講演会
(ひの煉瓦ホール大ホール) (11.21)

☞開設50周年を記念し、式典（市長、市議会議長、前川恒雄初代館長三氏のスピーチ）と市内在住作家の浅田次郎氏講演会「読むこと書くこと」を開催。

点字体験ひろば（中央図書館）(11.23)

図書館まつり（イオンモール内イオンホール及び

多摩平ふれあい館3階集会室）(11.28)

☞朗読劇（チームまじょ）、ハープコンサート（鈴木利絵子さん）、16ミリ映画上映、ビブリオバトル、ひまわり号の紙工作、本の紹介カード展示、図書館関係資料展示等をイオンホールで、また、リサイクル頒布市を多摩平の森ふれあい館3階集会室で開催。市民とともに図書館開設50周年を祝う。



浅田次郎氏講演会



ひまわり号の紙工作と塗り絵



本の紹介カード展示



ビブリオバトル発表者とヤングスタッフ